

# 稲門会

# よこすかみうら

発行 早稲田大学横須賀三浦稲門会  
 横須賀市佐野町6-22  
 松本将平方  
 Tel 046(853)0324  
 発行人 諏訪英治  
 編集人 福井陽一  
 印刷 文明堂印刷株式会社

## ご挨拶

横須賀三浦稲門会 会長 諏訪英治



横須賀三浦稲門会会員の皆様におかれましては、日頃より稲門会活動にご協力いただき感謝申し上げます。

私は田口穰一郎前会長から引き継いで、今年度より会長を務めさせていただきます。

私は昭和四十八年政経を卒業、昭和五十年から稲門会に顔を出すようになり、諸先輩に可愛がられ鍛えられ、ずっと若手だと思っていたのですが、来年は卒業五十一年のホームカミングデーに招待される年齢になってしまいます。

ここ数年コロナ禍によって稲門会活動はほとんど中止せざるを得ない状況でしたが、コロナの間隙を縫って六月の総会は強行(?)、盛会裏に終了することができました。久しぶりに多くの会員が集まり、和気あいあいと懇談することができたことは喜びに堪えません。やはり稲門会は皆がじかに顔を合わせ飲んで食べて語り合うということがいかに大切かというこ

とを実感させられました。

特に、早稲田バカを自認し横須賀三浦稲門会の顔とも言える島田一志元会長(九月に九十歳で逝去)が、車椅子とはいえお元気に出席されたことは、ご本人にとっても最後の良き思い出になったのではと思っています。

コロナもだいぶ下火になってきたように思われます。実は私も先日感染してしまいました。軽症で済みました。すっかりワクチンを打ってれば、インフルエンザと同程度と考えていいのかも知れま

## 令和四年度

### 総会・懇親会開催される

六月十八日(土)セントラルホテルを会場にして四五名の出席で開催されました。

総会は十六時から松本事務局長の司会で始められ、田口会長の挨拶、理工学術院統合事務・支援課課長の高橋知裕氏の紹介等がありました。議事に入って、活動報告・会計報告・監査報告・役員改選案がつつがなく承認されました。新会長に諏訪英治氏、新幹事長に田邊一三氏が就任されました。その後、神奈川県地域コーディネーターでもある高橋氏から、大学の

せん。そりそりりと日常が戻りつつあり、横須賀三浦稲門会としてもいろいろな活動を再開し、コロナ前の状況に戻していきたいと思っています。

稲門会活動は楽しむことが一番ですが、リタイヤしている諸先輩から現役で仕事をされている若い人まで、みんなで少しずつ役割を分担して進めていければと思っています。こういうことをやってみたい、こういうことならお手伝いできるという方は気軽に手を挙げ、私や役員の方に連絡頂ければありがたいと思います。

来年は横須賀三浦稲門会の活動が活発になって、母校や横須賀や三浦の街に貢献できればと切に願うところです。

現況等についてご説明をいただき、総会は閉会となりました。

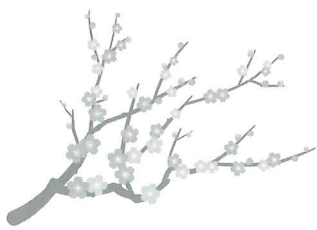
十七時から懇親会となりました。は西村茂氏です。コロナのちよう



どはごま期にあたり、飲食を共にすることが出来ました。島田顧問に乾杯の音頭をとって貰い、その後、初参加・久しぶりに見えた会員の挨拶と続きました。閉会の言葉を徳原光洋副会長からいただき、滞りなくお開きとなりました。出席いただいた方は次の通りです。

#### 総会・懇親会出席者

- 池野龍暢・石川巧・猪股和明・内田千代子・大場怜・大場規子・大場柚惟子ちゃん・奥津良博・木下眞生・木下令夫人・桑田廣隆・小泉孝一・小林伸行・小林秀俊・雑賀邦行・雑賀みどり・齋藤勝洋・齋藤令夫人・佐藤文吉・島田一志・鈴木祐之・諏訪英治・諏訪令夫人・高杉佑馬・高橋和代・田口穰一郎・多治見尚海・多田輝典・田邊一三・徳原光洋・永井聡・西村茂・波多康治・濱田恵里・福井陽一・福田知弘・福田令夫人・古郡勝洋・堀遼一・前原博幸・前原令夫人・松本将平・室井二三夫・茂木誉子・渡辺重博



# 2022年度校友会

## 神奈川県支部大会

11月5日土曜日、藤沢稲門会の主管にて、藤沢商工会館ミナパークで校友会神奈川県支部大会が行われました。コロナ未終息の状況で、出席者は約200人と例年よりやや少なめでしたが、主管部門各位のご尽力により神奈川県支部大会として3年ぶりの開催となりました。横須賀三浦からは12人が参加しました。



ご講演される予定だった田中総長がコロナ感染で欠席されましたが、大学常任理事の井上様が代わってVision150等について熱く語ってくださいました。Vision150の完成は10年後の2032年です



が、その先を見据えて、「早稲田大学を、2040年には日本で最も学ぶ価値のある大学にする。2050年にはアジアで最も進歩したいと思われ大学にする」という目標に胸が熱くなりました。コロナ対策基金には、校友から8ヶ月で8億円超の寄付金が集まり、こと寄付金に関して初めて、早稲田が慶応を上回ったそうです。「あなたの一万円が早稲田を変える」という言葉に説得力を感じました。



懇親会はビュッフェ形式ではなく、お弁当が配られる形式だったのには、コロナの影響だけでなく、

藤沢にこの人数を収容できるホテル・宴会場が無いことも影響していたようです。挨拶に立たれた鈴木藤沢市長も校友で、状況改善に意欲を示されました。  
グリーククラブによる合唱披露、応援部OBによる応援パフォーマンス等、愛校精神をかき立てられた一日でした。翌日、全日本大学駅伝、野球の早慶戦、ラグビーの帝京戦が同日に行われる日が楽しみにになりました。

### 横須賀三浦からのご出席者

(敬称略)

- 諏訪英治・齋藤勝洋・徳原光洋・前原博幸・濱田恵里・田邊二三・松本将平・奥津良博・木下眞生・波多康治・内田千代子・永井聡

### 年会費(令和4年度)納入者

(R4年11月17日現在)

- 青木明義・飯塚紘一・石井忠・石川巧・稲垣智之・稲垣英夫・稲葉英雄・猪股和明・今井俊行・今村真雄・上原公一・上原真・内田千代子・遠藤均・太田陽三・大竹清久・大野浩司・大浜澄江・大場怜・大場規子・緒方寛樹・奥津良博・門倉正幸・上地克明・彼末信哉・川崎喜正・木下眞生・木村志義・桑田廣隆・小泉孝一・河野一男・小林秀俊・小峯勇・雑賀邦彦・雑賀邦行・雑賀みどり・齋藤勝洋・齋藤建雄・櫻井紀彦・佐藤文吉・宍戸孝全・柴崎久・島和弘・島田一志・白戸篤・鈴木祐之・諏訪英治・高杉佑馬・高橋和代・高橋享子・高橋崇夫・田口穂一郎・竹内英明・多治見尚海・多田輝典・田中靖和・田中島民也・田邊二三

## 2023年 新年会のお知らせ

日時：2023年2月4日(土) 午後5時～  
会場：煌蘭(さいか屋南館2F)  
会費：6,000円(飲み放題)  
(福引賞品あり)  
ご家族同伴大歓迎!!

## 横須賀三浦稲門会 年会費振込みのお願い

令和4年度年会費納入をお忘れの方にお願ひします。

年会費 3,000円

払込取扱票を利用し、ゆうちょ銀行の通帳やカードで振り込む場合本人負担の手数料は無料となりますが、現金で振込む場合、手数料110円がかかります。会が負担する手数料は、窓口扱い203円、ATM扱い152円です。手数料節約のため、なるべくATM、通帳、カードをご利用下さい。

振込機関 ゆうちょ銀行

口座番号 00210-1-9927

口座名 横須賀三浦稲門会

会計幹事：奥津良博 TEL&FAX. 046-841-9596

- 谷合明・徳原光洋・富田清・徳間泰幸・永井聡・永井宗徳・長尾幸香・長澤佑太・中西剛・西村茂・長谷川久明・波多康治・初谷龍夫・浜田恵里・菱沼伸一・平岩伸康・平綿孝之・福井陽一・富士田佳生・古郡勝洋・古屋範子・星野雄・堀遼一・前原博幸・松本将平・三堀俊一・室井二三夫・茂木蒼子・森敏晴・安川有里・湯沢三郎・吉田恵・吉田雄人・蓬田とも子・渡辺重博・渡辺勝



# 私と早稲田

木下 真生

(昭和四十三政経卒)



さて、たいへんなものを引き受けてしまったようです。今までほとんど稲門会の活動に積極的にいかかわってこなかった私に（飲み会以外には）。天罰がくだされ、私と早稲田”ということでご下命が書いてくれ、というご下命が下されたのです。

大体、あまりにも昔のことです、正直よく覚えてもいないのです。名簿によれば私の早稲田への入学年は昭和39年、1964年、卒年は43年、1968年であり、（これは名簿に載っているものでたしかであろう）、この間の4年はいったい何をしていたのか不明。何しろ横須賀中央駅または汐入駅から品川経由で、高

田馬場、家から学校まで約2時間、それも一時限目はちょうど通勤時間帯と重なり、大学一年生にしてすでにサラリーマン的、通勤（通学）地獄を味わうこととなり、うんざり。しかもやっとたどり着いた学校は20—30%は休講。講義あっても内容は興味引かないようなことばかり。SAMUELSONという偉いノーベル賞学者が書かれた、分厚い原書を買わされ、読まされたが、内容は99%覚えていないし、社会に出てから何か役に立ったということもなかった（そこまで内容消化も把握もしていなかったし）。第二外国語はフランス語をとったが、ここで覚えたのが、*Sous le Ciel de Paris, coule la Seine.*（パリの空の下、セーヌは流れぬ）、フランス語の流れるような発音の美しさに魅了されたが、これもリエゾンとかいう前の単語のお尻と次の単語の頭がくっついておりなす、複雑な発音形態から来るものと知って深追いはあきらめた。総じて言うと、大学生としては何のはっきりした目的もなく、ただただ早く卒業して社会人になりたいということが、常に漠然とした願望としてあった、ということだったのです。じゃあ、大学生と

しての4年間は全く無為徒食の輩として過ごしていたのか？ここは自分本人の名誉のためにも言っておきたいが、昔、千駄ヶ谷にあった、津田 SCHOOL OF BUSINESS という専門学校に入り、BUSINESS ENGLISHを勉強しました。充実感ありでした。これはのちに赤井電機という会社を受けた時の口頭試問で、非常に役たち、面接官たちが、早稲田というのは英語教育に力を入れている大学と大きな勘違いのもととなった（ようです！）。実際には、お客さんから来た英文の手紙を渡され、其れを音読し翻訳、そして、その返事を英文でその場で言わされ書かされるというもの、口頭試問を無事PASS。そういう意味では私は早稲田50%津田50%の学歴です。

もっと正確には、私の学生時代はこのほかに横浜の埠頭の住友倉庫で沖仲仕まがいのことを毎年夏にやり、横須賀ではXYZ組の人たちと土木仕事を現場でやったりして（主に穴掘り）、肉体労働者としてもよく働いた。ちなみに私の身体があまりにも筋肉の塊だったので（体重は今より20kg少ない60kg、体脂肪率10%以下）、その組の親方が

（学生さん、学生なんかやっているのはもったいないよ、うちの組に入らないか）とリクルートされたこともあった（本当です！）

それも入れると、早稲田40%津田40%肉体労働20%ということになるのですかね。もちろん、学生時代につきものの中国語のほうもやった（ボン、チーの世界）。このように振り返ると、まあ、普通の学生生活だったのかなと思えないこともないですが。

今も、早稲田の講義内容や授業のやり方や学生の扱い方カリキュラムの組み方など大きく言うと4年間の教育のやりかたは50数年前と同じ？とは思いませんが（いい形で変わってほしいですが）、学生にもっともったものを考えさせ、自分の意見をはっきりと（できれば英語で）DEBATEできるような実力をつけさせ、世界に通用するような人材に育ててゆくようなことをやってほしいと思います。世界で輝く早稲田！（今のWASEDAのSLOGAN）。世界に羽ばたけるような人材育成、これをお題目だけでなく実践していったらいいということです。横須賀三浦稲門会の先輩諸氏が人材育成を頭において、年に2・3

## 前原 博幸

横須賀市小矢部

1—30—10

(昭和46年法卒)

## 徳原 光洋

横須賀市小原台

7—19

(昭和45年商卒)

## 『慶喜と隆盛』

### 美しい国の革命』

作品社刊 1,400円

福井 孝典

## 稲門研修会のご案内

演題：「幕末と神奈川」

日時：2023年3月8日(水) 午後7時～

会場：ヴェルク横須賀

講師：福井陽一（孝典）氏

（横須賀三浦稲門会員S49教育卒）

※食事は各自お済ませの上ご来場下さい。

回でも、後輩たちと話をする（先輩としての実務経験などを参考にした）DISCUSSIONをする、そういうTRYをどんどんやってほしいですね。WASEDAの学生は皆、資質はいいのでしようが、そういう国際的に通用する人材に教育され育てられているのだろうかという気がしますが、私の杞憂でしょうか？ 仕組みはできていないのでしようが、SOFITと運用は大丈夫なのかな？ ということです。たとえば、ハーバート、OXFORDやいろいろの国の学生たちと定期的な交換会を持ち意見交換をするだけでも、いろいろ違ってくるのではないかと思いません。

私自身はWASEDA出身ということを含めあまり強く意識してこなかったとは思いますが、ただ、ほかの人に言わせると其れは意識しないでも来れたからだともいわれます。その辺は分かりませんが、しかし会社で人を採用する立場になった時も、出身校もつとと言うと学歴自体を気にしたことはありませんでした。それよりもその人のものの考え方、見方、人生でなにを目指しているのか、仕事で何を成し遂げたいのか、などが重要だと思ってきました。今でも周りを見渡してもいまだに、学歴、出身校などを第一義的な価値として、追い求める傾向があるようですが、意味ないと思います。そんなものよりももっとも大切なものが人生にはあるのではないかと思えます。

そうそう、かくゆう私が早稲田を出てよかったと思っていることがあります。それはいい学友たちそして稲門会を通じての先輩同輩後輩の皆様方と知り合えて来たということです。これは何物にも代えがたい大きな財産だと思えます。そうみると、私と早稲田”というタイトルに最もふさわしい置き換えは、私と早稲田の人々”ということになるのでしょうか。

それを裏つける出来事として、先日の元民主党党首、かつ元内閣総理大臣の野田佳彦氏の安倍晋三元首相に対する、国会における追悼演説があります。あの演説は、野田氏の人となりがよく表れている感動的なものであったと思えます。

言葉の重み、その言葉で言い表されている真の民主主義をどこまでも追究してゆく精神の大切さを訴えた聞く人たちすべての心に届く演説であつたと思えます。氏は、早稲田大学雄弁会に所属し、松下政経塾の第一期生でもあり、それらの場所で、思想的にも、また言葉の重さ使い方の大切さも学んできたのであると思えますが、それは二義的なものでやはり氏のバックボーンとなってきたのは真の政治の在り方に対する深い洞察力、思いであったのではないかと思えます。凶弾に倒れた安倍氏にも同じものがあつた、だからこそ真剣勝負での魂と魂のぶつかり合いを続けてきたかつた、との叫びが天に上ってしまった安倍氏に向けられたのでしょうか。

振り返って、自分自身の生き方は？

政治の世界と我々一般人が生きている・来た世界とは、大きく異なる部分があるとは思いますが。比較して、どちらがどうだということは一概には言えるものではないでしょう。それぞれが、人生の幕を下ろすときにどう判断をするのか、ということではないかと思えます。

先日島田先輩が、90年の人生の幕を下ろされ、黄泉の国へ旅立たれました。あの先輩は、早稲田を愛し早稲田の人々をこよなく愛していらしたのだと思えます。今回の演説にみられた、野田氏のような一途な気持ちを持った人が育つに深い影響与えたであろう学びの場として、学びの杜として。

短歌  
故島田先輩をしのんで..  
今ゆきぬ長き人世の幕が降り  
人はそれぞれまた歩みだし

紀ノ雅生 木下真生

10月3日、2022年。島田先輩を見送って、.....、  
詠む、.....、

あれほど早稲田を愛された先輩を持って、我々は幸せです。早稲田に永遠の栄光あれ。これでいい、これでよかった、.....、

(完)

- お悔やみ
  - 高橋清美 (S 30法) 一月御逝去
  - 渡辺郁子 (S 48文) 七月御逝去
  - 箕輪伸喜 (S 46理工) 七月御逝去
  - 島田一志 (S 30商) 九月御逝去
- 謹んでご冥福をお祈りします。

パン市場 

**はまだぶんてん**

<http://panichiba-hamadabunten.co.jp>

校友 浜田 恵里

**Tel.046-841-0046**

衣料品・肌着・学生用品・雑貨

**柳屋**  
YANAGIYA

<http://www.yanagiya-inc.co.jp/>

代表取締役社長 田邊 一三 (昭和50年商学卒)

上町店 衣笠仲通り店 久里浜店 三春町店 リドレ店  
松原店 杉田店 弘明寺店 弘明寺2号店

TEL 046-825-8888(代) FAX 046-823-8885

鋼材・ステンレス・非鉄金属材料

有限会社 **諏訪誠商店**

会長 諏訪 英治 (昭48 政経卒)

横須賀市根岸町 5-23-1

**TEL 046-852-1682**  
**FAX 046-852-1683**

# 学芸欄

今号から、稲門会ニュースに学芸欄を新設する事になりました。文芸関係で、俳句・短歌・川柳・詩・紀行文など。又、絵画として、水

## 水彩画コーナー

彩・油彩・パステル・水墨画など。紙面の許す範囲で掲載して行きたいと思えます。今回は第一回目で、会員三名の水彩画及び三名の短歌と俳句を紙上発表させて頂きました。年二回発行する稲門会ニュース「学芸欄」に会員の皆様のご投

稿をお待ちしております。連絡は左記に！

前原博幸

☎080-5030-2918

✉1026jyujin@com.zaq.ne.jp

## 短歌・俳句コーナー

### 短歌

#### ●木下 真生 (紀ノ雅生)

カサカサと 乾いた音で 別れを告げて  
いま旅立つひとの 骨の白さよ (別れ)

命の火 今燃え尽きて 悲しみが  
広がってゆく 宇宙の果てまで (命の火、友の死に詠む)

熱海の海 春が静かに たゆとうて

かすみに浮かぶ 初島やさし (熱海の海、春の熱海にて)

花花花 山いっばいの 花畑

子らの笑顔も みな花になり (久里浜花の国にて)

悲しみが 5月の朝の 雨のなか

じっと静かに 佇んでいる (悲しみ 5月の雨のあさに)

それぞれが 背負いし運命と 生きてゆけ

強く翔びたて セキレイの子達 (菓立ち)

#### ●雑賀 邦行

##### 屋久島登山行

目に沁みる 紅藪椿 屋久島に 体の疲れ 瞬時に消えゆく  
湯船から 立ち待ち月の 青き光 揺れる海面に 初恋想う  
満ち潮に 入れぬ海辺の 露天風呂 昨夜の湯浴み 夢かも知れぬ  
故郷は 桜の盛り 屋久島は 青葉眩しく 夏は来たりぬ  
芍薬の 盛りに再び 訪れむ 屋久の奥山 雲上の路

### 俳句

#### ●諏訪 英治

川風に 頬なでられて 3000歩 (6月 朝の散歩)  
夏の陽に たちまち乾く 路上の血 (7月 安倍元首相銃撃死)  
汗飛ばし 駆け抜ける子や 雲の峰 (8月)  
篝火を 消して気が付く 闇の濃さ (9月 長良川 鶴飼)  
旅立ちぬ 人にも少し 秋の風 (10月 島田一志元会長葬儀)



『疾走』

諏訪英治



『暁の出港』

諏訪英治



『新緑のYRP水辺公園』

前原博幸



『秋の円覚寺総門』

前原博幸



『鎌倉 妙本寺』

徳原光洋



『熱海 夕暮れどき』

徳原光洋

# 早稲田大学校歌

相馬御風…作詞／東儀鉄笛…作曲

一.  
都の西北 早稲田の森に  
聳ゆる薨は われらが母校  
われらが日ごろの 抱負を知るや  
進取の精神 学の独立  
現世を忘れぬ 久遠の理想  
かがやくわれらが 行手を見よや  
わせだ わせだ わせだ わせだ  
わせだ わせだ わせだ

二.  
東西古今の 文化のうしほ  
一つに渦巻く 大島国の  
大なる使命を 担ひて立てる  
われらが行手は 窮り知らず  
やがても久遠の 理想の影は  
あまねく天下に 輝き布かん  
わせだ わせだ わせだ わせだ  
わせだ わせだ わせだ

三.  
あれ見よかしこの 常磐の森は  
心のふるさと われらが母校  
集り散じて 人は変れど  
仰ぐは同じき 理想の光  
いざ声そろへて 空もどろに  
われらが母校の 名をばたたへん  
わせだ わせだ わせだ わせだ  
わせだ わせだ わせだ

# 早稲田大学応援歌・学生歌

## 紺碧の空

住 治男…作詞／古関裕而…作曲

一.  
紺碧の空 仰ぐ日輪  
光輝あまねき 伝統のもと  
すぐりし精鋭 闘志は燃えて  
理想の王座を占むる者 われ等  
早稲田 早稲田  
覇者 覇者 早稲田

二.  
青春の時 望む栄光  
威力敵無き 精華の誇  
見よこの陣頭 歓喜あふれて  
理想の王座を占むる者 われ等  
早稲田 早稲田  
覇者 覇者 早稲田

## 早稲田の栄光

岩崎 巖…作詞／芥川也寸志…作曲

一.  
栄光はみどりの風に  
花ひらく若き日の歌  
重ね来し歴史尊く  
承け継ぎて輝く早稲田  
早稲田 早稲田 我らの早稲田

二.  
ふり仰ぐ時計の塔に  
青春の眸は澄みて  
雲と湧く文化の理想  
担い立つ我等たくまし  
早稲田 早稲田 我らの早稲田

三.  
昂然と高張る胸に  
伝統の息吹通いて  
翻えず校旗の紅に  
感激の血潮は沸る  
早稲田 早稲田 我らの早稲田

四.  
先哲の面影偲ぶ  
なつかしき真理の杜を  
彩るは七色の虹  
とこしえに輝く早稲田  
早稲田 早稲田 我らの早稲田